

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2025年1月6日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
00W58 5 (0W58 4)	HPV核酸検出 (検診)	子宮頸部	V41 (f6)	室温 (28日)	2~4		PCR (リアルタイムPCR)	陰性 (-)	重 裏面参照

[00W58 5]HPV核酸検出(検診)の留意事項

- HPV検査単独法による子宮頸がん検診用の検査項目です。
- 本検査の判定結果が「陽性(+)」の場合、「婦人科細胞診(トリアージ)」を追加いたします。
- 「婦人科細胞診(トリアージ)」の所要日数は4~7日です。
- ロシュ・ダイアグノスティックス社の「コバス® 6800/8800 システムHPV」を用いています。
測定対象は16型、18型、その他ハイリスクグループ(31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 68型
および66型)です。
- 検体の返却はいたしません。

●検査実施の流れ

20歳代(2年に1回)

06241 7
細胞診(婦人科LBCベセスダシステム)

30~60歳(5年に1回)

00W58 5
HPV核酸検出(検診)

陽性(+)

婦人科細胞診(トリアージ)

陰性(-)/判定不能

※HPV核酸検出(検診)のみをご希望の場合、担当営業員へご相談ください。
HPV陽性検体のみの検体返却が可能です



● HPV核酸検出（検診）

子宮頸がん検診において、HPV検査単独法の運用に準拠した検査です。

2024年2月、厚生労働省による「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が改正となり、同月に「対策型検診におけるHPV検査単独法による子宮頸がん検診マニュアル」が公表されました。2024年4月以降、要件を満たした自治体において、HPV検査単独法の導入が可能となりました。

HPV検査単独法とは、30～60歳を対象にHPV検査を実施し、陽性とされた場合にのみ追加的にトリアージ検査として同一検体を用いた子宮頸部の細胞診を実施する方法です。現行の細胞診の検診間隔は2年毎ですが、HPV検査単独法では5年毎となることから、受診者の負担軽減による受診率向上が期待されています。

本検査は、HPV検査単独法のアルゴリズムに従い、HPV検査およびトリアージ検査を実施いたします。自治体の子宮頸がん検診において、HPV検査単独法を採用する場合、本検査をご依頼ください。

▼検査要項

検査項目名	HPV核酸検出（検診）
項目コード （旧項目コード）	親：00W58 5（0W58 4） HPV核酸検出（検診） 子1：00W59 4（0W59 1） 判定 子2：00W60 2（0W60 1） HPV16型 子3：00W61 1（0W61 9） HPV18型 子4：00W62 0（0W62 6） その他ハイリスクグループ
検体量	子宮頸部
容器	V41（f6）プレザーブサイト液（ThinPrep）
保存方法	室温保存してください
所要日数	2～4日
検査方法	PCR（リアルタイムPCR）
基準値（単位）	陰性（－）
報告範囲（単位）	陰性（－）、陽性（＋）、判定不能
備考	重 指定容器（V41）以外でのご依頼はできません。 検体に血液が混入していると、データに影響を及ぼす場合がありますのでご注意ください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

[00W58 5] HPV核酸検出（検診）の留意事項

- HPV検査単独法による子宮頸がん検診用の検査項目です。
- 本検査の判定結果が「陽性（＋）」の場合、「婦人科細胞診（トリアージ）」を追加いたします。
- 「婦人科細胞診（トリアージ）」の所要日数は4～7日です。
- ロシュ・ダイアグノスティックス社の「コバス® 6800/8800 システムHPV」を用いています。
測定対象は16型、18型、その他ハイリスクグループ（31、33、35、39、45、51、52、56、58、59、68型および66型）です。
- 検体の返却はいたしません。

● 検体の取り扱い方法

妊婦より細胞を採取する場合、使用できる採取器具等に制限があります。
サーベックスブラシは妊娠10週以降禁忌、サイトピックの子宮頸管内検体採取用端子は妊娠週数にかかわらず禁忌となりますのでご注意ください。なお、綿棒は使用しないでください。

● 参考文献

三浦 俊昭，他：医学と薬学69（1）：157～162，2013。（検査方法参考文献）
対策型検診におけるHPV検査単独法による子宮頸がん検診マニュアル：2024。（臨床的意義参考文献）